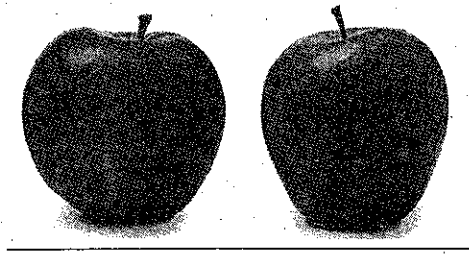


アイ
アクティブインターナショナル(宮田靖久社長、名古屋熱田区)では、
ニューシラランド産リンゴ品種「ブリース」(写真左)と「ソニア」(右)の本格
販売を開始した。これにより、同社が扱うNZ産リンゴは5年前に販売開
始した「ふじ」を合わせて3品種となる。3品種とも力ボチャなどで長年取
引のある「フレッシュ」社(オークランド)が栽培する。中でも「ブリース」と
「ソニア」はフレッシュ社の独自品種で、「日本のリンゴにはない味わい」(宮田社
長)とアピールする。今シーズンは両品種合わせて150トほど輸入する
予定で、量販店だけでなく業務加工用にも販路拡大を狙う。



「ブリース」は1月末か
で、中心サイズは100
玉。「ソニア」は3月末に
収穫が始まり7月頃まで
の出荷。さわやかな甘
みと酸味が感じられる
という。
フレッシュ社では約2
20畝の園地で10品種以
上のリンゴを栽培。生産
量は3万トで、NZでも
トップ3に入る。輸出に
も注力し、ヨーロッパや
米国、アジア、ロシアに
向け合計約2・4万トを
出荷する。日本にも「ふ
じ」を輸出しているが、
「ブリース」「ソニア」が
加わることで、「他国に
比べて検査が厳しい日本
に向け、さらに体制を強
化した」「ラシア・マーケ
ティング・マネージャー
のグレッグ・クロス氏
という。
日本向けには害虫が発
生していない区画で収穫
を行い、バック加工施設
での加工前に混入がない
か確認を徹底する。パッ
ク加工施設では、まず高
圧水洗機で洗浄。燻蒸後
に2℃以下で25日間の冷
却処理を行う。出荷前は
NZの農林水産省の最終
審査を行い、合格したも
のを輸出。出荷タンボー
ルに梱包する際に、メッ
シユ状の包装資材でリン
ゴ全体を包むことで、害
虫などの侵入を防いでい
る。
さらに残留農薬検査も
実施。NZでは品種ごと
に初荷の輸出前に行い、

スーパーでの販売も好評



う。チリ産は第2週から
各ブランドがスタートす
る予定。米国カリフォル
ニアD1(セントラル・
カリフォルニア地区)産
はシーズン終盤で品質が
不安定となり、一部で腐
れなども。【市場価格】前
年並み。1ケース(17・
2キ)当たりカリフォル
ニア産は95、115玉5
500~5250~50
00円、140、165
玉6000~5750、
5500円。
ハイランドがピーク
【バナナ】
入荷量は前年並み。比
例年産度順調。た
だ例年産度のばらつき
が出るので注意。【市場
価格】前年に比べてやや

輸入果実の動き

6月の見通し

南
ア
産
の
入
荷
ズ
レ
イ
ブ
フ
ル
ツ
入荷量は前年並み。南
アフリカ産が入荷し、数
量回復へ。【市場価格】前
年並み。1ケース(15キ)
当たり南ア産35、40玉3
000円、45玉2800
円、50玉2500円。
米
国
産
は
減
産
オ
レ
ン
ジ
入荷量は前年並み。総
入荷量の減少や産地の価
格高騰を受けて相場が上
昇している。165玉の
不足感が強く、6月中旬
まで小玉不足は続きそ
う。

【市場価格】前年並み。
1ケース(12キ)当たり
比
例
年
産
度
順
調
。
た
だ
例
年
産
度
の
ば
ら
つき
が
出
る
の
で
注
意
。【市場
価格】前年に比べてやや
安
い
。1
ケ
ー
ス
(12
キ)
当
た
り
比
率
5
7
玉
2
4
00~2200~2200
0円、8玉2200~2
100~1900円、
9、10玉2000~19
00~1800円。
タイ産は降雨注意
【マンゴー】
入荷量は前年並み。メ
キシコ産は5月下旬より
ハイデン種からセント種
に切替え。船便は6月中
旬頃にトリアートキンス
種からセント種に切替わ
る予定。セント種の作柄
は例年並みで、価格も大
きな変化はない。タイ産
はナムドクマイ種が5月
下旬で終了、マハチャ
ン種が6月下旬まで入荷。
タイ産は雨季に入り、降
雨の影響が懸念される。
【市場価格】前年並み。
1ケース(12キ)当たり
産
ケ
ン
ト
種
(航
空
便
、7
キ)10、12、14玉20
00~5000円、トミ
アトキンス種(船便、5
キ)10、12、14玉30
00~2800~2600
0円、タイ産マハチャ
ン種(航空便、6キ)12、
14玉3500~3300
0~3100円。
NZ産は大玉顕著
【キウイ】
入荷量は前年並み。ニ
ュージーランド(NZ)
産は降雨や収穫遅れが影
響し大玉傾向が顕著。食
味は良好。前年に比べ極
端に大玉の入荷が多く、
販売規格の変更が求めら
れる。【市場価格】前年
に比べて高い。1ケース
(3・5~10キ)当たり
NZ産グリーン18~39玉
1700円、NZ産サン
ゴールド16~27玉210
0円、チリ産グリーン30
0円、チリ産グリーン30
0~39玉3800~3500
0~2500円。
各産地で価格高騰
【アボカド】
入荷量は前年並み。総
入荷量の減少や産地の価
格高騰を受けて相場が上
昇している。165玉の
不足感が強く、6月中旬
まで小玉不足は続きそ
う。

30周年を記念したPOP

国内外での研修や
全農との意見交換も
野菜流通カット協
野菜流通カット協議会
(会長 木村幸雄・彩香
社長、76会員)は、20
17年度の総会を行っ
た。今年度事業では、国
内外での研修会や加工・
業務用野菜の現地検討
会、マッチングにもつな
がるJA全農との情報交
換会などを行う。
協議会はカット業者、
市場業者、資材業者、生
産者団体などからなり、
昨年度は吉野家ホールデ
ィングス、JA宮崎経済
連、JA全農長野(進会
員)などが入会した。
昨年度事業は、「研究・
情報交換・交流事業」と
して、JA全農との情報

加州チエリー30周年

入荷は4年前の水準に回復

ピークを迎える米国カ
リフォルニア産チエリ
リ。今年輸入開始から
30周年を迎える。
日本におけるアメリカ
ンチエリーのシェア約30
%を有し、シエホルタ
ーとしてマーケティング
活動を進めているローヤ
ル(京都市下京区)によ
ると、昨年までの3年間
は天候不順や干ばつで入
荷量が減少していたが、
今シーズンは豊作で高品
質が期待できるといっ
た。例年より10日ほど遅い
4月30日からのスタート
となったものの、シーズ
ンを通じた日本への入荷
量は前年比約20%増、4
年前の水準に戻ると予
測。そのため、「昨年に
比べ消費者も買いやす
くなるのでは」と見る。シ
エホルタール(京都市下京区)によ
ると、昨年までの3年間
は天候不順や干ばつで入
荷量が減少していたが、
今シーズンは豊作で高品
質が期待できるといっ
た。例年より10日ほど遅い
4月30日からのスタート
となったものの、シーズ
ンを通じた日本への入荷
量は前年比約20%増、4
年前の水準に戻ると予
測。そのため、「昨年に
比べ消費者も買いやす
くなるのでは」と見る。シ

日本到着後に第3者機関
により再度行う。
NZからは船便を利用
し、東京港・神戸港まで
約2週間。冷蔵コンテナ
で鮮度保持を図る。1ケ
ースは18キ。サイズは両
品種とも60~120玉
で、需要に応じたサイズ
を供給していく。アクテ
に、中食や外食、ケータ
リング業者などに向けて
供給を行っていく。日本
ではNZ産キウイがすで
に市場を確立しており、
「こうした点からも日本
の消費者はNZ産に対し
て親近感を持ってくれる
のでは」「宮田社長と期
待する。
丹鉄)を運行するWIL
LER TRAINS
(寒竹聖一社長、京都府
宮津市)と西日本最大級
の道の駅「丹後王国」食
のみで「を運営する丹
後王国(伊藤真人社長、
京都府京丹後市)は連携
し、「貨客混載事業」を開
始する。丹後地域の農業
振興や地域の活性化が目
的。1月1日に丹後王国
美浜駅)で、事業開始を
記念した出発式を開催す
る予定。
同事業では、これまで
同道の駅に直接出荷を行
ってきた農家が、丹鉄沿
線の最寄駅へ農産物を運
搬し定期列車で輸送す
る。輸送区間は久美浜駅
から峰山駅。農産物の輸
送は4列車に限定し、10

入荷量は前年並み。比
例年産度順調。た
だ例年産度のばらつき
が出るので注意。【市場
価格】前年に比べてやや
安
い
。1
ケ
ー
ス
(12
キ)
当
た
り
比
率
5
7
玉
2
4
00~2200~2200
0円、8玉2200~2
100~1900円、
9、10玉2000~19
00~1800円。
タイ産は降雨注意
【マンゴー】
入荷量は前年並み。メ
キシコ産は5月下旬より
ハイデン種からセント種
に切替え。船便は6月中
旬頃にトリアートキンス
種からセント種に切替わ
る予定。セント種の作柄
は例年並みで、価格も大
きな変化はない。タイ産
はナムドクマイ種が5月
下旬で終了、マハチャ
ン種が6月下旬まで入荷。
タイ産は雨季に入り、降
雨の影響が懸念される。
【市場価格】前年並み。
1ケース(12キ)当たり
産
ケ
ン
ト
種
(航
空
便
、7
キ)10、12、14玉20
00~5000円、トミ
アトキンス種(船便、5
キ)10、12、14玉30
00~2800~2600
0円、タイ産マハチャ
ン種(航空便、6キ)12、
14玉3500~3300
0~3100円。
NZ産は大玉顕著
【キウイ】
入荷量は前年並み。ニ
ュージーランド(NZ)
産は降雨や収穫遅れが影
響し大玉傾向が顕著。食
味は良好。前年に比べ極
端に大玉の入荷が多く、
販売規格の変更が求めら
れる。【市場価格】前年
に比べて高い。1ケース
(3・5~10キ)当たり
NZ産グリーン18~39玉
1700円、NZ産サン
ゴールド16~27玉210
0円、チリ産グリーン30
0円、チリ産グリーン30
0~39玉3800~3500
0~2500円。
各産地で価格高騰
【アボカド】
入荷量は前年並み。総
入荷量の減少や産地の価
格高騰を受けて相場が上
昇している。165玉の
不足感が強く、6月中旬
まで小玉不足は続きそ
う。